

NEWS RELEASE

「松篁、松園を語る 松園、松篁を語る」展を開催します。  
上村松園、松篁親子がお互いについて語った“ことば”から作品をセレクト

近鉄グループの文化事業である「松伯美術館」では、2023年3月28日（火）から2023年6月25日（日）まで、展覧会「松篁、松園を語る 松園、松篁を語る」を開催します。

上村松園と松篁はお互いを尊重し、画のことはお互い話をしなかったといひます。しかし、松篁が母・松園のことを語った文章はいくつも遺っており、松園の文章にも子・松篁について触れた箇所を見つけることができます。

本展では、松園、松篁それぞれの文章から、お互いについて語った“ことば”を拾い上げ、それを基に、松園「娘」や約3年ぶりの当館展示となる松篁「万葉の春」を含む、当館所蔵の作品や下絵、素描など約80点を展覧し、画道ひとすじに生きた二人の画業を振り返ります。

また、展覧会期間中、当館館長である上村淳之の美術講演会を開催します。

詳細は別紙のとおりです。



上村松園「娘」大正15年(1926)



上村松篁「万葉の春」昭和45年（1970）近鉄グループホールディングス株式会社蔵 松伯美術館管理

## 別紙

1. 名称 松篁、松園を語る 松園、松篁を語る
2. 開催期間 2023年3月28日(火)～2023年6月25日(日)
3. 主催 公益財団法人 松伯美術館、毎日新聞社
4. 会場 松伯美術館
5. 休館日 月曜日
6. 開館時間 午前10時00分～午後5時00分(入館は午後4時00分まで)
7. 入館料 大人〔高校生・大学生を含む〕820円、小・中学生410円
  - ・20名以上は団体割引(入館料1割引)
  - ・障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで入館料2割引
8. 展示作品数 約80点(下絵、素描を含む)
9. 主な展示作品
  - 上村松園 「娘」「花がたみ」「新蛭」(※1)「鼓の音」(※2)「伊勢大輔」<個人蔵>(※2)「春苑」「夕べ」「序の舞」「草紙洗い小町」「夕暮」などの下絵 ほか  
※1: 3月28日～5月7日展示 ※2: 5月9日～6月25日展示
  - 上村松篁 「万葉の春」(※)「閑光」「母子の羊」「金魚1」「椿」  
※: 当館では約3年ぶりの展示

### [特別展示]

- 上村淳之 「月汀」「水辺の四季」「憩」

\* 展示作品は、都合により変更する場合があります。

### 館長 上村淳之による『美術講演会』の開催 [事前申込による抽選制]

日時: 5月13日(土) 14時00分～15時00分

場所: 松伯美術館 展示室

座席定員: 50名(座席指定)

聴講料: 無料、但し入館料が必要

申込方法: 往復はがき「往信」裏面に次の事項を記入の上、申込み下さい。

①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号 ⑤参加希望人数(2名まで)

申込締切: 2023年4月21日(金) [必着]

申込先: 松伯美術館

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2-1-4 電話: 0742-41-6666

以上

《参考画像》



上村松園「花がたみ」大正4年(1915)



「春苑」「夕べ」2作品の下絵 昭和10年(1935)



上村松園「鼓の音」昭和15年(1940)



上村松篁「閑光」昭和2年(1927)



上村松篁「母子の羊」昭和12年(1937)



上村松篁「金魚1」大正12年(1923)